

暴風雪時の対応について

冬期間は、暴風雪による停電や遭難といった災害が多く発生しています。気象情報に注意して、暴風雪が予想される時は外出を避けましょう。

吹雪などの時に外出する場合は、できるだけ公共交通機関を利用するようにし、やむを得ず車を使う場合は見通しが悪かったり、吹き溜まりの発生なども予想されますので次の点に注意しましょう。

～やむを得ず車で外出するときは～

- 地吹雪などにより、運転をしていて危険を感じたら、無理をせずにガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどで天気の回復を待ちましょう。
- 冬期間は地域により天気が急変し車が立ち往生する可能性もあるので、防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出掛けましょう。
また、万が一に備えて、飲料水や非常食も用意しておく心安いです。

～もしも吹雪で動けなくなったときは～

- 避難できる場所や近くに民家などがいない場合は、消防(119番)や警察(110番)に連絡して、車の中で救助に備えてください。また、GPS機能付きの携帯電話を持っている場合は、GPS機能を有効にしてください。消防で通報者の位置をできるだけ正確に把握することに有効です。
- 車が雪に埋まったときはエンジンを切りましょう。
マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、窓を開けて換気しこまめにマフラーまわりを除雪してください。

※北海道 HP でも、情報発信を行っておりますのでご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/boufusetu.htm>